

## 茨木市議会議員(無所属)



# あびこ浩子 ゆめ・みらい通信

連絡先：(自宅) 茨木市穂積台1 2-503穂積台グランドコーポ

Facebook：あびこ浩子 | WEBサイト：<http://www.hiroko-abiko.jp>



### 民生常任委員会視察に行ってきました。

(2日目 茨城県土浦市 医療施策・大学連携寄付講座)

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

今週は、5月も終わり、いよいよ6月に突入です。梅雨の時期がやってまいります。ものすごく暑い日と雨が降って急に寒くなる日とがあり、身体がついていきません。くれぐれも体調管理にはお気を付けてください。

5月17日(水)から18日(木)の1泊2日で、民生常任委員会の行政視察に行ってきました。1日目は東京都足立区にて「子どもの貧困対策」について、2日目は茨城県土浦市に「医療施策・つくば大学への寄付講座を使って市内の医療を充実させている様子」を視察いたしました。2日目についてご報告です。

「茨木市は市民病院もなく、救急医療を市外に頼りすぎている」とよく言われます。私自身も実感しており、父の入院先は、高槻医大や北摂病院でどちらも高槻市。最後に救急搬送されたのは阪大病院で吹田市でした。知人のお見舞いも、日赤病院や緑が丘病院が多くこちらも高槻市。救急搬送される先を選ぶことはできないですが、入院後家族が通う、あるいはご本人が退院後の通院も市外の病院に行くことになり、大変不便な思いをしている方も多いと思います。設備の整った病院が身近にあると日々安心です。病院のベッド数は大阪府が計画を立てる「三島医療圏」(茨木市高槻市島本町摂津市の3市1町)の単位で決められています。総人口あたりのベッド数などもこの計画で決められており、新たに茨木市で救急医療を担う総合病院を新設することは難しいです。三島医療圏の中で他市にある病院を茨木市に誘致してくることは可能ですが、それも調整が必要です。市内病院に不足している脳神経外科の医師に来ていただけるような、また、阪大病院などとの連携を進められるような施策が必要です。土浦市の寄付講座でつくば大学との連携、本市も議論するべきだと思います。



イオン茨木 献血活動

#### 【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1選挙2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選
- ◆夫、長女、長男、次女夫婦と孫娘

## あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(624)5480(留守時はメッセージを残してください)

Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

HP: <http://www.hiroko-abiko.jp>

FACEBOOKページ

「あびこ浩子(茨木市議会議員)」

「あびこ浩子 茨木ゆめ・みらい工房」

Twitter @abiko\_h(あびこ浩子(茨木市議会議員))



お互いさまと思える茨木に！  
生活者の視点を政治に！

## 茨木市立認定こども園 太田幼稚園

視察に伺いました！

5月24日(水)、茨木市立認定こども園太田幼稚園に視察に伺いました。

今年度から公立幼稚園(2年保育)から認定こども園に5園(茨木・福井・西・太田・水尾)が変わり、その様子を見せていただきました。

認定こども園とは 幼稚園の機能と保育所の機能を併せ持つ施設のことです。幼稚園部分のみ利用する場合は、午前9時から午後2時(水曜日は午前11時30分)までの保育となり、保育部分も利用する場合は、その前後の時間も保育時間となります。

なお、午前9時から午後2時までの幼稚園部分の時間は、幼稚園部分のみを利用する子どもと保育部分も利用する子どもが一緒のクラスで保育を行います。

ただし、保育部分を利用するには保護者が就労しているなどで園で子どもを保育する必要があることを証明する書類(勤務証明書等)を市に提出し認定を受ける必要があります。

私の子どもたち3人は幼稚園に通っていましたが、3人目は公立幼稚園にいきました。15年ほど前でも、幼稚園は「園バス送迎・お稽古事つき・給食あり」が人気でした。人気の幼稚園には10月1日の入園申し込みの前から徹夜で列をつくって並び、という光景もありました。昼間はママが並び、帰宅したパパが夜中並び、朝にママと交代してパパが出勤などというすごいことをやっておられた家庭も珍しくなかったです。

今は少子化が進み、働き方の多様化に伴って幼児教育、保育のあり方が、問われています。かつては公立幼稚園も入園が抽選になる時期もありましたが、昨今

給食室の様子



では、「自分で歩いてあるいは自転車で送迎、お稽古無い、給食無し」の公立幼稚園の人気は下がり気味。保育料金は私立より安い分、PTA活動で園行事をお手伝いすると言われていて、どんどん園児は減っていました。かつては年長組が3クラスあった園もありましたが、定員いっぱい集まることはほとんどなくなったようです。また、子ども子育て支援新制度により、収入の応じての応能負担になり、公立幼稚園の保育料が安いというメリットも感じにくくなってきています。

認定こども園に移行することで、応募が殺到しました。公立幼稚園で3年保育があることや、長時間保育が可能になったこと、給食があることなどが魅力になったのか、その点は改めて検証していただきます。

時代が変わっても子どもの笑顔は変わらないです！この笑顔を支えたいのです。

### 6月議会が始まります

6月9日(金)12日(月)本会議あります。是非傍聴にお越しください。

毎週火曜日・木曜日の朝、JR茨木駅西口下、水曜日の朝、南茨木駅、金曜日の朝、阪急茨木市駅東口南側にてご挨拶と週刊通信を配布させていただいています。お急ぎとは思いますが、お時間許せば手に取っていただけましたら幸いです。お声をかけていただけたらとても嬉しいです！

